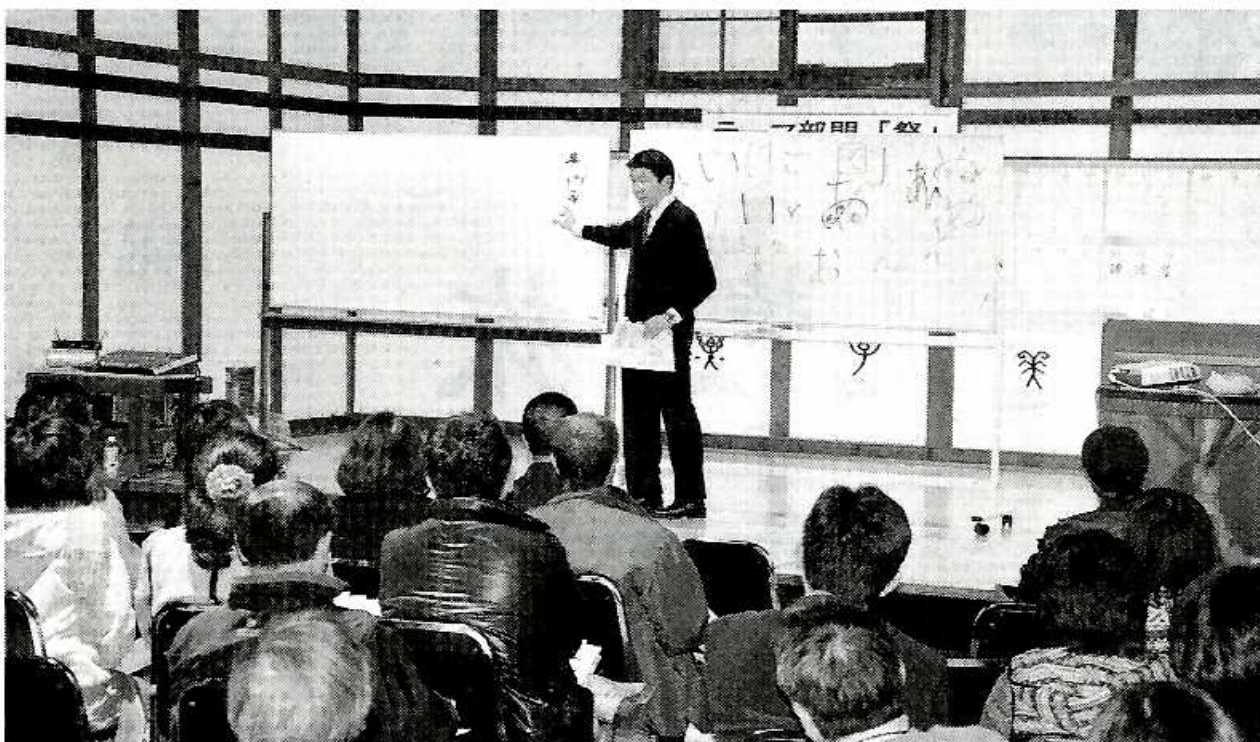


漢字の面白さを再認識



漢字の奥深さに理解を深めたフォーラム

喜多方でフォーラム

講習会や基調講演

「漢字のまち喜多方フォーラム」は23日、喜多方市の大和川酒蔵北方風土館で開かれ、参加者が漢字の面白さを再認識した。

古代文字を使った観光誘客事業を推進する同市などが、漢字の奥深さを学び喜

多方の新たな魅力を知ってもらおうと開催した。

漢字講習会では同市の篆刻家・高橋政巳さんが漢字の成り立ちや古代文字などについて説明した。

基調講演も行われ、暁星小（東京都）の安次嶺隆幸

教諭が「子供のやる気を引き出す『世界一の漢字授業』」語源から学ぶ漢字教育の現場から」と題して話した。安次嶺教諭は古代文字などをを使って自身が実践している授業について説明した。